

富士箱根：金時山

- ◆日程 2018年11月24日(土)
- ◆メンバー L：雫、雨面、河野、山中、須田ご夫妻、大山、山田(留)、松田、今、大塚、富田(敬称略)
- ◆天候 晴れ

今回の参加メンバー11名中で、初金時山は私1名のみでありました。金時山はとても良い山と聞いておりましたのでとても楽しみにしており、参加できて良かったです。心配していた天気も晴天に恵まれ、この時期にしてはとても暖かく感じました。

朝9時に箱根湯本改札で待ち合わせ、そしてバス停に並びました。三連休の中日ということもあり観光客でバスは混雑しておりました。運動不足の私はすっかり体が重くなり、登りでは呼吸が上がりみんなに心配されました。とは言っても歩きながら時々見える美しい紅葉、左側に見える蘆ノ湖、くっきりと見える富士山など楽しみながら歩く事が出来、なんとか無事に山頂までたどり着けました。

山頂に到着すると故高橋会長を偲び山頂付近のお骨が散骨されている場所(富士山が見える良い場所)で、お線香、お酒などお供えし故人を偲びました。一通りを終えると、須田さんが作ってくださった暖かいお汁粉を皆でいただき、献杯を行いました。山頂付近は動かないと冷え込む為、甘くて温かいお汁粉がとても美味しかったです。またお酒も体を温めてくれ、楽しい話や、山の歌でおおいに盛り上がりました。

帰りのバスは大渋滞となりましたが、17:00過ぎには小田原駅に到着して「個室 Dining ほのか」で反省会。ハイボール好きは、飲み物「チンチロリン」をオーダー。サイコロを振りぞろ目が出るとハイボールが無料となり、奇数だか偶数だか忘れましたがハイボール半額になる。また外れはメガハイボール(定価取られる)など運だめしをするメニュー。をオーダーしました。塩もつ鍋や刺身もとても美味しかったです。

何と言っても今回の山行の良かった点は、山の会の先輩方々や、新しく入会された仲間と話が出来て楽しいひと時を過ごせたことが良かったです。

ご一緒していただいた皆様本当にありがとうございました。

(記：富田)

澄み渡った冬空の下、毎年恒例の故高橋会長を偲ぶ、金時山山行に参加させていただいた。

紅葉シーズンの3連休とあって、箱根湯本駅のバス乗り場は長蛇の列ができていて驚いたが、仙石行きは意外にも乗客が少なくホッとす。登山前に全員で自己紹介をし、準備運動をした後、須田さんを先頭に金時山を目指した。気温は12度と低かったが、登山道はポカポカと陽が当たって皆汗だくになり、途中で上着を脱いだりして調整した。

稜線に出ると、箱根外輪山や芦ノ湖、駿河湾までが一望でき、素晴らしい眺めであった。山頂近くでは登山者の渋滞ができ、道を譲り合いながら歩く。スタートしてから1時間半ほどで金時山の頂に着いた。目の前には大きな富士山が堂々とその姿を現していた。山頂は人であふれていたため早々に集合写真を撮り、少し下ったところにある広場にシートを張った。

高橋会長が眠る木は富士山が目に見える場所にあった。故人の希望だったそう。お酒を供え、お線香をあげ、皆で黙祷を捧げた。賑やかな山頂とは対照的に、厳かな時間が流れていた。その後昼食タイムとなり、須田さんがお汁粉を作ってくださった。甘く温かいお汁粉は、山頂で冷えた体に染みわたりとても美味しかった。それぞれが持ち寄った酒やつまみを食べながら、高橋会長が好きだった山の歌を歌ったり、20年ほど前の山の会の写真を見たりして楽しい時間を過ごした。気付けば日本酒一升と富田さん持参のウイスキーボトルが空になっていた。

下山は金時神社へ行くルートを通った。神社の社務所では巻き割り体験ができ、山田さんと須田さんは見事一撃で薪を割っていた。御朱印やお守りなども販売されていて、金太郎の凝ったデザインに購買意欲をそそられ、皆で置いてあった御守りを買ってしまっただけだった。

帰りのバスは箱根湯本まで大渋滞し、小田原駅まで2時間もかかった。恐るべし紅葉シーズン！下山後の懇親会では、零会長、河野さん、山中さんの若かりし日の武勇伝や楽しいお話で大いに盛り上がった。

今回は故高橋会長を偲ぶ山行であったが、新旧会員が交流でき、とても意義のある山行となった。
(記：松田)

CT：金時山登山口 9:55 - 矢倉沢峠 10:25 - 金時山 11:25/13:20 - 金時神社
14:30 - 仙石バス停 15:10



金時山山頂にて